

ワインの表示 ルールについて

平成28年3月8日

国税庁



1. 日本ワインとは

「果実酒等の製法品質表示基準」

(平成27年10月30日告示)

「日本ワイン」を定義

国産ブドウのみを原料とし、日本国内で製造された果実酒

「日本ワイン」に限り、産地名、ブドウ品種、収穫年が表示可能

※産地名を表示する場合は、その地域で収穫したブドウを85%以上使用すること

2. 表示ルール制定の背景 —従来の表示—

国産ブドウのみ
を原料

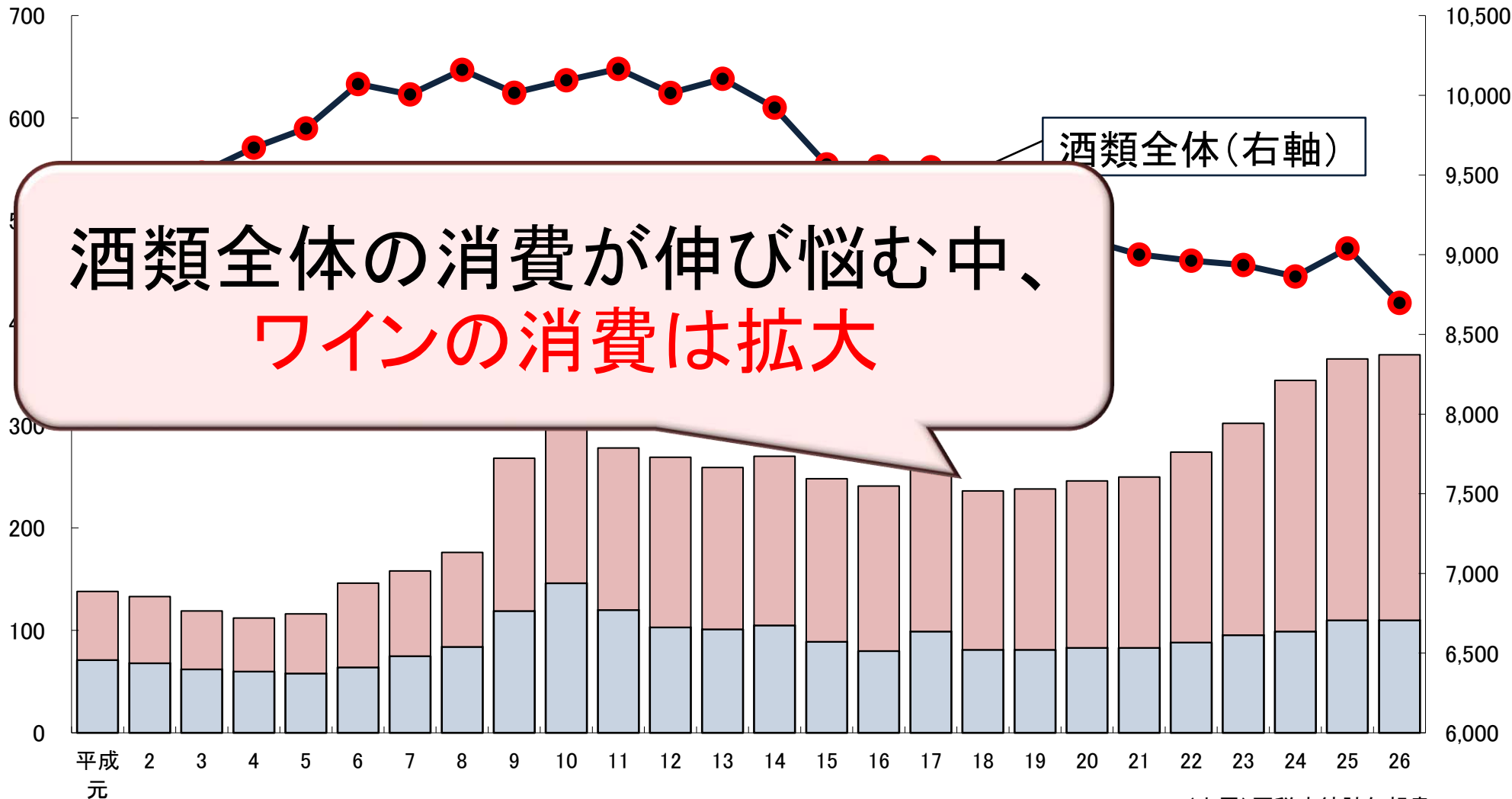
輸入濃縮果汁
輸入ワイン を原料

国産ワイン

消費者にとって、国産ブドウのみを原料としたワインとそれ以外のワイン（海外原料を使用したワインなど）との区別がつきにくい

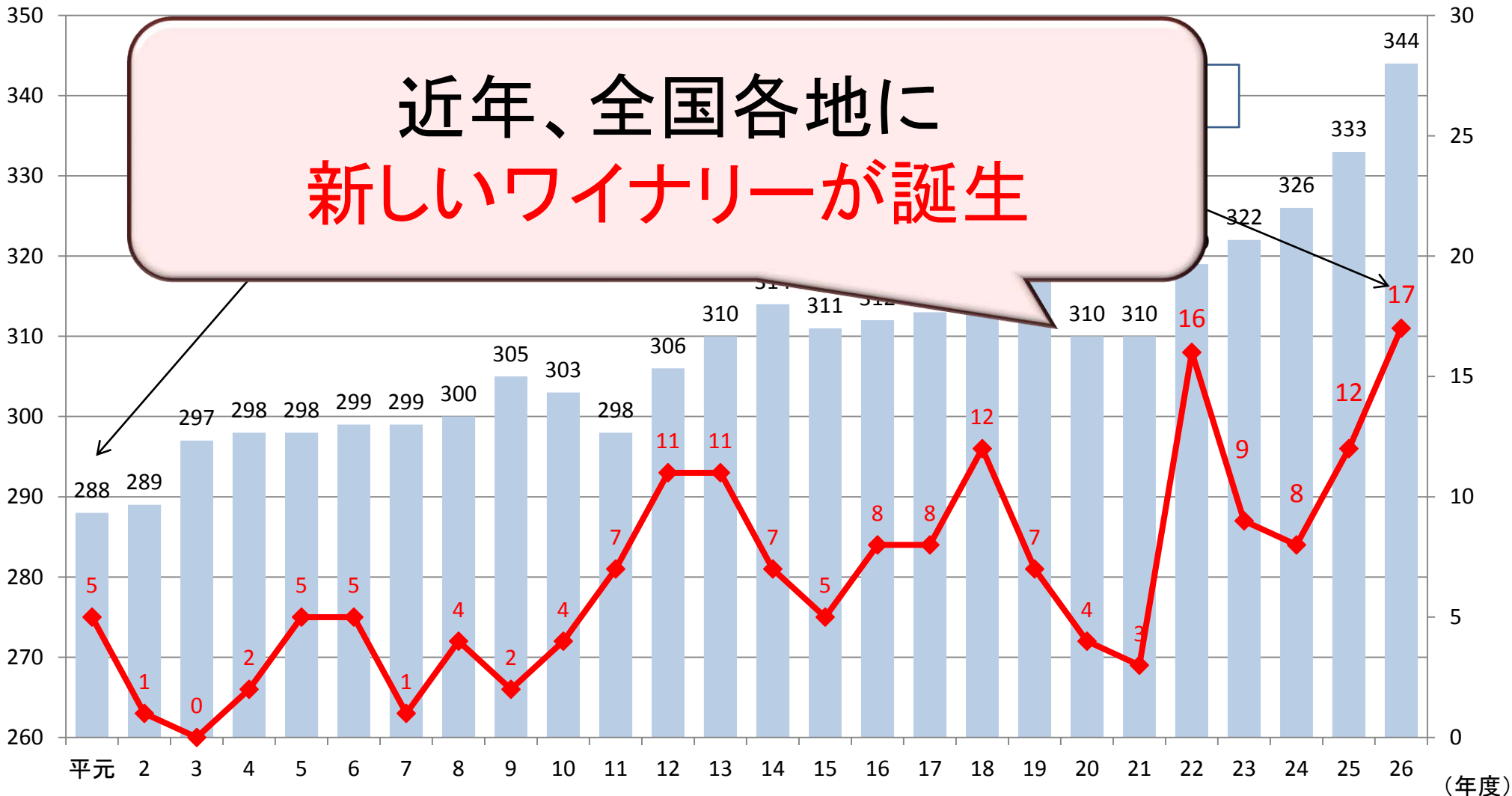
2. 表示ルール制定の背景 —消費動向—

果実酒の課税数量の推移



2. 表示ルール制定の背景 —新規参入—

果実酒製造場数及び新規免許付与件数の推移



2. 表示ルール制定の背景 – 評価の高まり –

2015 International Wine Challenge (英)

Silver

国産ブドウのみから醸造された
「日本ワイン」の高品質化

2015

Silver Prize 8点

International Wine Challenge (英)

2015 Decanter World Wine Awards (英)

Gold Prize 1点 Silver Prize 1点

3. 新しい表示ルールの効果

「果実酒等の製法品質表示基準」

(平成27年10月30日告示)

消費者が安心して商品を購入

日本ワインのブランド力の向上

※産地名を表示する場合は、その地域で収穫したブドウを85%以上使用すること

日本ワインの 課題

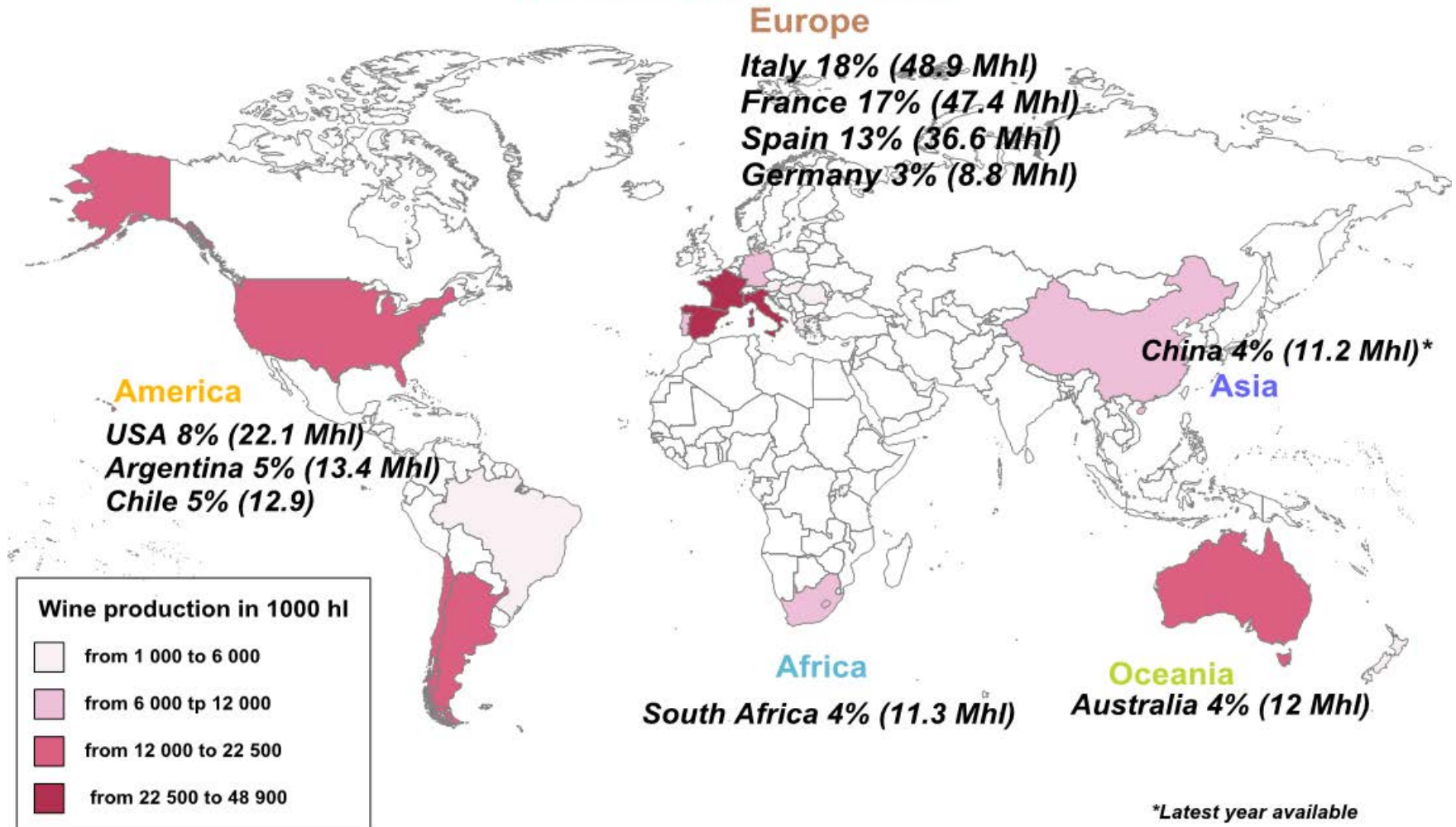
平成28年3月8日

国税庁



1. 世界のワイン生産

2015 World Wine production: 275.7 Millions of hectolitres
(excluding juice & musts)



1. 世界のワイン生産(2)

Table 1: Wine production (excluding juice and musts) (1)

<i>Unit: 1000 hl</i>	2010	2011	2012	2013	2014 Provisional	2015 Forecast	2015/2014 Variation in volume	2015/2014 Variation in %	Ranking
Italy	48 525	42 772	45 616	54 029	44 229	48 869	4640	10%	1
France	44 381	50 757	41 548	42 134	46 804	47 373	569	1%	2
Spain	35 353	33 397	31 123	45 308	38 211	36 600	-1611	-4%	3
United States (2)	20 887	19 140	21 650	23 590	22 020	22 140	120	1%	4
Argentina	16 250	15 473	11 778	14 984	15 197	13 358	-1839	-12%	5
Chile	8 844	10 464	12 554	12 820	10 500	12 870	2370	23%	6
Australia	11 420	11 180	12 259	12 310	12 020	12 000	-20	0%	7
South Africa	9 327	9 725	10 569	10 982	11 316	11 310	-6	0%	8
China*	13 000	13 200	13 511	11 780	11 178	11 178	0	0%	9
Germany	6 906	9 132	9 012	8 409	9 202	8 788	-414	-4%	10
Portugal	7 148	5 622	6 327	6 231	6 195	6 703	508	8%	11
Russia *	7 640	6 980	6 220	5 290	4 880	4 880	0	0%	12
Romania	3 287	4 058	3 311	5 113	3 750	4 069	319	9%	13
Hungary	1 762	2 750	1 818	2 618	2 555	2 873	318	12%	14
Brazil*	2 459	3 460	2 967	2 710	2 732	2 732	0	0%	15
Greece	2 950	2 750	3 115	3 343	2 900	2 650	-250	-9%	16
Austria	1 737	2 814	2 125	2 392	1 999	2 350	351	18%	17
New Zealand	1 900	2 350	1 940	2 484	3 204	2 350	-854	-27%	18
Serbia*	2 382	2 244	2 175	2 306	2 332	2 332	0	0%	19
Bulgaria	1 224	1 237	1 442	1 755	747	1 538	791	106%	20
Moldava *	840	1 520	1 470	2 570	1 630	1 630	0	0%	21
Georgia*	1 034	1 108	830	997	1 134	1 134	0	0%	22
OIV World Total(3)	264 188	267 803	258 211	292 218	270 234	275 665	5431	2%	

2. 日本の自然環境



出展:くらべる地図帳
浅井建爾
東京書籍(2010)

3. 日本ワインへの注目

- 様々な品種が全国各地で栽培されている
 - 欧州系品種
 - シャルドネ、ソーヴィニヨンブラン、ケルナー、リースリング
 - メルロー、カベルネソーヴィニヨン、ツバイゲルトレーベ
 - 米国系品種
 - デラウェア、ナイアガラ
 - コンコード、キャンベルアーリー
 - 日本特有あるいは日本で交配された品種
 - 甲州、竜眼
 - ヤマブドウ、マスカットベリーA、ブラッククイーン
- 品質の向上
- 甲州種ワインの世界での評価
- 取り扱い店、棚の増加
 - 日本ワインに特化したワインバー

4. 日本ワインの課題

- ワイナリーとブドウ農家が分業
- ワイン用ブドウ栽培の歴史が短い
 - 地域に適したブドウ品種は？
 - 地域に適した栽培ノウハウは？
- ワイン用ブドウが足りない
 - 絶対的な量が不足
 - ブドウ農家の減少
 - 植栽からブドウが収穫できるまで最低3年必要
- コストが高い
 - 人件費、ブドウの価格が高い
 - 支援産業の規模が小さい
- 新規参入者への支援